



2011-12年度国際ロータリーのテーマ

こころの中を みつめよう博愛を 広げるために

RI 会長：カルヤン・バナルジー
 2800 地区ガバナー：細谷 伸夫
 ガバナー補佐：本多 信昭
 会長：武田 寿美男 幹事：伊勢 和正
 クラブ会報委員会
 委員長：太田 幸一郎
 委員：青山 恵一郎 木村 政則
 金井 和義 相沢 そのみ

山形南ロータリークラブ会報

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2800

第1911 回例会

2011-8/9 (火) 天気 (晴れ)

□ 例会場：ホテルキャッスル
 □ 点 鐘：PM12:30 武田寿美男 会長

□ 司会進行 (SAA)：木村 政則 君
 □ ロータリーソング：「奉仕の理想」

会長挨拶



皆さん、こんにちは。
 連日の30度を越す本格的な暑い夏を向かえております。体調管理には十分気をつけられ過ぎていただきたいと思います。
 7月26日のムービーオンでの映画鑑賞会、8月2日のパレスさんでの夏まつり家族会と3週間ぶりに例会場に戻り、我が家に帰った気分でございます。

8月2日の例会前には理事会を行っておりますのでご報告致します。
 ①7月22日前年度より、一般会計ニコニコBOX会計の繰越金

を受け取りました。それから基金4,102,304円の預かりがあり、内380万円を40周年実行委員会に引き渡す件。
 ②9月20日のいも煮例会での会員会費を3,000円とする。
 ③9月13日の新世代奉仕事業を11月5日に変更する。
 ④ホームページに会報を掲載する。
 ⑤山形7RC事務局運営委員会規定一部見直しについて。
 ⑥8月15日のALSチャリティゴルフの進捗状況。
 等の決議、報告がありました。

詳細につきましてはその都度幹事より連絡があると思います。
 お客様のご紹介を致します。ゲストスピーカーの山形銀行頭取長谷川吉茂様でございます。どうぞよろしく願いいたします。

幹事報告 伊勢 和正 幹事

- 11日18:30より親睦委員会が桜田西の香シャンであります。ご出席お願いいたします。
- 16日はお盆で休会となります。
- 20日土曜日は13:00より地区の米山奨学セミナーがメトロポリタンで開催されます。会長・幹事・大久保米山奨学会委員長に参加してもらいます。
- 23日は朝6:15集合の朝のラジオ体操例会です。八日町八幡神社集合ですが、是非お孫さんも一緒に体操して豚汁とおにぎりをどうぞ。当日家庭菜園をなさっている会員は、野菜を持ち寄って自慢話をお聞かせ下さい。

委員会報告

親睦委員会 阿部 浩一 君

8月の会員誕生日は、高梨和夫君、武田秀則君、佐藤稔君、稲村佳宏君、武田寿美男君の5名のみなさんです。



ニコニコBOX 青山治右衛門 君

谷口 義洋 君 日頃からお世話になっております長谷川吉茂頭取がお越しいただいたことに感謝します。武田秀則会員が社会福祉法人を立ち上げ、建物の受注をいただきました御礼申し上げます。

稲村 佳宏 君 誕生日のお祝いありがとうございます。

- 鈴木 利明 君 皮膚の日の講演会で講演をいたします。
 武田寿美男 君 誕生日のお祝いありがとうございます。一年間勤めてまいりたいと思いますよろしく願いします
 武田 秀則 君 誕生日のお祝いありがとうございます。会報のほうに孫の写真が載っておりました、また今回千歳建設さんから建物を立てていただきます、明日が地鎮祭になります。
 青山治右衛門 君 夏祭り家族例会家内と楽しませていただきました。
 布施 富将 君 夏祭り家族例会、孫3人と妻と参加させていただきました。
 日下部功夫 君 夏祭り家族例会楽しませていただきました。
 長沢 一好 君 夏祭り家族例会家内と楽しませていただきました。
 長谷部成昭 君 夏祭り家族例会家内と楽しませていただきました。
 長谷川吉茂 様 40周年おめでとうございます。



例会場／ホテルキャッスル 例会日／毎週火曜日 12:30～13:30

事務所／山形市十日町1-1-26 歌懸稲荷神社 社務所ビル2F TEL.023-632-7777 FAX.023-624-5200



ただいまご紹介いただきました山形銀行の長谷川です。南ロータリークラブ40周年ということで心からお喜び申し上げます。

私は、山形ロータリーの私の祖父がチャーターメンバーで、3代ロータリアンであります。がまったくの不良会員でありまして、どういう形でメイクをしているのか私もよくわからなく本当に申し訳ないと思います。しかし、いろんな県内各地それから宇都宮のいろんなロータリーでお話させていただいたことは事実でございます。今日はテーマが東日本大震災について、皆さんもいろいろな思いがあると思います。そして、実は今日は休みの予定だったんですが吉村知事との座談会がありまして、当然そこでもこのテーマが出てくるという形になります。そんなことを踏まえた上で私がどう思っているかを中心にお話させていただきます。

山新等でも何回も出ていますので、ごらんになった方もおありだと思いますが、3月11日ちょうど私、銀行の目の前八文字屋から帰ってきて歩いてたときに、大揺れがありまして、失礼ですけども松坂屋さんよりもうちの銀行が倒れないだろうと思って慌てて銀行の中に駆け込んで、あつ頭取が外にいたって大騒ぎになったんですが、皆さんにとっても大変思い出がある3月11日になるのかなと思います。

被害の総額については1回内閣府が発表しております。3月23日どういうわけかあれから全然正確な数字を発表しないというのめいかなものかという気がいたしますが、一応頼りになるのはそれしかないです。ザクツといえど16兆から25兆というこんないい加減な説明はないですよ。16兆と25兆ではずいぶん違うと思いますよね。もうすでに確かなのは、阪神淡路大震災、あれが9.9兆、約10兆です。これは試算の仕方にもよりますが、三菱銀行で行った試算では間接影響を含めれば22兆になる。ようは10兆の直接被害額が2倍になるだろうと言うのが実際の被害であります。今回は16兆から25兆かける2にすると32兆から50兆という数字になるということで、新聞の取材で50兆くらい覚悟しなければならないということです。日本のGDPの大きさというのは500兆ですからその10%のストックが棄損したという事は大変大きな影響であったわけですね。東北各県から言えば、青森、岩手、宮城、福島この4県の県内総生産GDPが25兆です。ですからこの4県が2年間働いて戻せる金額を失ってしまったことになるわけですね。楽観的な議論も出ていますが大変重く受け止めていただきたいと思います。

安藤忠雄さんが3月31日、日経ですごくいい事を書いてまして僕は、安藤さんとは2度くらいお会いして2、3時間お話をしております。「日本は過去2回の奇跡を起こしたじゃないか」と書いております。1つは明治維新、幕藩体制からの脱皮を自分でやったこと。それと、戦前、戦後、焼け野原で自分の国を世界一の経済大国にしたこと。「何

で今回できないのか」というのが安藤さんの言い方です。ちょうど3月31日ということもあって私はジーンと来たということでもあります。同じテーマで堺屋太一さんが書いております。堺屋さんも安藤さんも両方お互い知っている人ですが、どっちの個性が強いのかというとどっちもどっちだと思います。先に新聞に出したのは安藤忠雄さんということになります。その中の文章でかっこいいことを書いております。フランスの詩人ポール・クローデルは同じく詩人で友人のポール・ヴァレリーに「私はこの民族だけは滅びてほしくない」と願う民族がある。それは日本民族だ」と話したということを書いていまして、フランスを代表する詩人が日本民族をこれだけ評価してくれることは大変うれしい話でございます。そんな意味で今日の最初の事は「世界の人に好かれている日本」という事をもう一回皆さん確認していただければと言う事です。実は、私の所にもメールがたくさんきております。電話が通じないのでメールが一番早かったです。昔交換留学生であった女性から、「大丈夫ですか、私がお世話になった日本、大丈夫ですか」という手紙をいただきました。ちょうどPHP新書から日本はなぜ世界で1番人気があるのか、皇室の親戚の竹田さんという人の本があって、本の内容はたいしたことはないのですが、非常に面白い統計が使われてるんです。僕は始めてみた統計ですけどBBC英国放送協会、日本のNHKみたいなものですが、世界を代表する放送局ブリティッシュブロードキャストカンパニーという会社が、毎年アンケートを取ってるんです。どういうアンケートかということ、世界中にアンケートを出して、たとえばアメリカ、たとえばドイツ、たとえば日本に対して世界の人々がどれだけこの国を評価するか評価してないかというアンケートを毎年とってるんだそうです。その中に日本があるんですね。参考までにいうと今世界中の人が一番良い影響を与えている国というのはドイツだそうです。100人いれば59人がこの国はよい影響を与えている。だめな影響は14人だそうです。残りは中立。日本はどうかということ53%がよい影響を与えている。悪い影響を与えていると見ている人は21%、26%が中立。日本は好かれてるんです世界で二番目に好かれてるんです。僕はすばらしい数字だと思って見てました。たとえば中国は世界で評価するは41%、評価しないが38%、中立が21%。改めて世界の人に日本は好かれていると認識する必要があると思います。

それから2つ目に書いているのが、『問われるべき政治の責任』は今回きっちり問われるべきだと思います。今、後藤新平の話が結構話題になっております。当時、後藤新平は岩手県水沢市出身、同じように日銀総裁だった高橋是清が宮城県出身ということで、東北人が関東大震災のときに大変な活躍をしたんです。当時の東京市長内務大臣をやった後藤新平が、(当時今の金額で175兆に相当する予算要求をしました。)結局これは5分の1にカットされて30億円要求したものを5億円台まで落とされてしまいました。関東大震災が日本で一番亡くなった方が多い震災ですが、14万人亡くなりました。今回の震災では2万人ちょっ

とに最終的になるだろうと思いますが、こういう政治家が昔はいたんですね。

経済の方で高橋亀吉さんという方がおられて、『昭和金融恐慌史』という本を書いておりますが、結果的に政治がまとまらなかったからこの予算も雲散霧消して結局軍国主義に走る引き金となったと書いていますから、歴史の評価とは本当に難しいことがあろうかと思えます。しかしながら今の政治家よりまともだと思います。今回の事でも私の所にいろんな国会議員の方がいらっしゃいますが、1つ期待したのは「連立政権ができないか」ときつく言ったつもりです。与謝野さんがその先触れとして動いたんですが結局出来なかった。もう一つは官僚主導じゃないのは良いのですが官僚を全然使えなかったという事もあり、連立政権をつくることによって緊急突破するとか、官僚を有効に使うとか今でも使えてないこの問題がこれからも後遺症が出ると思えます。ですから政治の立場からやらなければならないのは、まず第一に被害総額をもう一回確定してもらうこと。16兆から25兆では困るんですよ。それから、第二は原発の放射線の影響をもっと開示しろと。第三はどうやって金を調達するかははっきりしてくれ。税金を上げるか何か。第四はその上で新しい日本をどうやって描くか。ここまでではちょっと無理かもしれませんが、第三まではやるべきではないかと思えます。こういう意味であえて『問われるべき政治の責任』と書いておりますけれども、これはある人、ある人とは外人になりますけど、外人に言わせれば君らの責任だと言われます。日本人が悪い『政治家を育てないからだ』と言われます。アメリカをよく馬鹿にしますが、あの国はやっぱりすごいと思うのはハーバードの教授連中が平気で政治家になるんですよ。で、また戻りますよ。日本では東大の教授が絶対にならないわけです。馬鹿にして。それで良いのかと言う事であります。3つ目が『日本外交の米国回帰』ここまで書くと問題があるかもしれませんが、日本外交の米国回帰が必ず起こるだろうと思えます。3月11日の東日本大震災に対してアメリカの人々は弱体化した日本に対して中国が日本を脅しにかかるという判断に入ったんです。何故かと言うと中国はすでに尖閣諸島で脅したわけです。それから南シナ海で中国の下と言われる南沙諸島でベトナムとフィリピンを脅したわけです。

アメリカは、日本人はなんだかんだ言っても首相が変わっても我々の仲間じゃないかという判断に至った。先ほどのPHPの統計から見ればアメリカでは65%の人が日本人のことが好きなんです。中立が24%、嫌いなのは11%しかいないんです。アメリカ人の大半は日本人のことが好きなんです。それをやっぱり理解することが大事だと僕は思います。なにをやったかという日高義樹さんと連携を持って、友達作戦をやった。救援のために120隻の艦艇と260機のヘリコプター、航空機を出動させています。そして南北300キロにわたる救助活動を1ヶ月あまり行いました。ここから面白いんですけど、仙台沖に来たロナルドレーガンという空母があります。これは最新鋭空母です111,000トンの原子力空母、これはグアムに配置していたんです。これを仙台沖まで持って来たわけです。空母の他に巡洋艦チャンセラーズビル駆逐艦プレブルを置いて11隻で艦隊を組み仙台沖に来たわけです。一方、第七艦隊はどうしたのかという事です。朝日新聞は原発の影響を恐れて横須賀を出たと書いていましたがとんでもない間違

いで、横須賀を母港とする第七艦隊は旗艦ブルー・リッジそれから空母ジョージワシントンこれを長崎沖つまり尖閣沖に配置したんです。中国が日本に一步も手を出せないように空母を派遣したわけです。戦争ですよこれまさに、なおかつペンタゴンにいる太平洋艦隊司令官パトリック・ウォルシュ大將をワシントンから横手に派遣して陣頭指揮を執らせたんです。こんな事誰も新聞に書いてないです。おかしいと思いません。もっと言えば3月17日吹雪だったですあの時アメリカのC130輸送機が海兵隊を乗せて神町空港に降りたんです。彼らがおそらく仙台に行ったんです。仙台にもC130が重機を載せて着陸しているんです3月17日に、仙台の人はテレビでこれを見てるんです。全国放送にならなかっただけで、要するに自衛隊が行ったものではないんです。アメリカ軍が空母二隻を指揮下にやったという事でありまして、防衛省の連中の話ですとある意味完全な戦闘体制です。要するに、日本の防空網を全部オープンにするという事で防衛省としては何も隠すものがない状態でアメリカ軍に救助を求めて助けてもらったと、大事なことは山中さんという外務省の事務次官だった方とお会いする機会があって、日米安保条約の読み方というのがあるんですね。日米安保条約って我々安保反対運動やった方ですからこんな事話したら問題あるんですけども、1960年に発行しております去年がちょうど50年なんです。鳩山さん達はあんまりお祝いをやらなかったですよ。日米安保の中で大事なものは5条と6条なんだそうです。そこには自動的にアメリカが日本を守るとはどこにも書いてないそうです。要するに日本とアメリカの同盟国関係を外務省と確認しておかないとアメリカは助けてくれないかもしれないということです。それが外務省の連中の非常な危機感としてあるという事、日本はアメリカを助ける義務はないですから日米安保には、アメリカが一方向的に助ける、アメリカは別に助けてくれとは言っていない、そういう条約なんです。それを踏まえれば鳩山さんと小沢さんの民主政権がやって日米関係が悪化した。しかしアメリカは日本はやっぱり助けてやろうとアメリカの核の傘の下にあるということが好きか嫌いかまったく別にして確認しなければならない。沖縄問題、TPP問題はそういう風になるんです。それが外交だと思います。日本外交の米国回帰という問題、これからの問題として、これからの世界を見る常識として覚えて置かれたら宜しいのではないかと思います。寺島実郎さんがアメリカの時代が終わって中国の時代が来るなんてのは嘘なんです。そう思って聞いていただいたらいいと思います。寺島実郎さんは今アメリカ入国禁止だそうです。

4つ目が『複線化の必要性』複線化という言葉は皆さんにとっても当たり前に見える言葉になっております。ちょうど今いろんな所に随筆を書いたり、ペンネームでコラムを書いたりしてますけどやっぱりこの話は受けるんです。今回の問題として太平洋沿岸に効率的な投資をすることによって生産性を上げるシステムを作ったけれども結果的にそれが破壊されたときに誰が助けたかって言うと山形空港であり酒田港であり、要するに無くなる寸前のものが助けた。人間にとって無駄でも世の中にとって無駄ではないものがたくさん有るのではないかと、ですから皆さん宗教の本もたくさん読まれるのだと思います。当ロータリーで一番関係のある千歳栄さんはその辺詳しいですし、のち二年後山寺立石寺の秘仏像『薬師如来像』を50年ぶりに千歳

栄さんが開帳される事になっております。50年前は私の祖父が開帳しました。重要文化財です。最澄さんが草木国土悉皆成仏て今回梅原猛先生が東日本大震災復興構想会議特別顧問（名誉議長）になっておられますが、僕は非常にいいと思っておりますが要するに草木国土悉皆成仏というのは専門的に言うと天台本覚論と言うんですけども、草木も木も国も土も悉皆すべて成仏、仏になりますその時の根本概念というのがキリスト教であれば神様で次が人間で次が動物達がいっぱいいると日本の仏教と言うのは聖徳太子、まあ実在したかどうかの議論はあるんですけど、聖徳太子以来ひとつの完成点となる最澄の天台仏教の中で「人も草木も木もみんな平等です」という言い方をするんです。自然と人間との共生は上位者でなく同じ立場で平等であるこれが日本の根底に日本人はあるんじゃないかと思う気がしてそんなことが書いてございます。そんなことが大震災によって確認されたことと私が勝手にしたことだとして皆さん確認されたかどうか分からないけど、こんなことがしばらく続くだろうと思います。その上で『震災後(AQ)の課題』AQとはアフタークエイクの意味です、震災前はBQビフォアクエイクという言い方になる。AQとはこれをどう捉えるかは先ほどの問題もそうですけどわれわれ経済を描くとき非常に大事になってくる。確かにサプライチェーンが崩壊したり消費の自粛が行われたりしてますけども、これを皆復旧と同じく考えるんですね震災の復旧が終わったら本当に戻るんですかね。これからの商売はまずそこからやらなきゃいかんと思います。震災前と震災後は違うかもしれない、例えば震災にあった海岸の人達はもう土地に対する興味は無くすのではないか、土地は流動性がモビリティがあるんじゃないか、贅沢品に対する興味をどうするのか、家の造りをどうするのか、消費構造、需要構造、生産構造これから先もっともっと変わっていくだろうという見方をして、是非我々を含めて柔軟に頭を回転できるようにしておかなければと思います。これからは正念場になると思います。これについては福沢諭吉さんが非常に面白い言い方をしております。一身二生、一つの人間が幕末と明治維新の二つ人生を経験した。要するに、AQ、BQ二つやったら俺は一身二生だと福沢先生がしたということかもしれません。いろいろインタビューも受けてますんで、最初は格好のいいこと考えたんですよ。明治以降日本は中央集権国家という体制でやってきた。山形でも偉いのは東京から来た人で地元は次だと、地方の世界とはどこでもそうだと思うんですけど、それをぶっ壊す絶好のチャンスにならないかなと今でも思ってますけど、いわゆる地方分権でなく地方の時代を作れないかなと、全国に作るのは無理でしょうけど山形県なりに作れないか。要するに人口が減りはじめた、

日本中どこでもその時に一人当たりの豊かさを追求できる。豊かさはいろいろあるが地方でなければいけないということが念頭にあり、仙台と山形の交流の問題とかいう話をしております。知事さんにはひとつのテーマとして『東北で最も安心・安全な県を目指す』という主張をしたいと思っております。

最後に経済の話をししたいと思います、今回の震災はすごく心配してみてたんです。何を心配して見てたかという、あれだけぶっ壊されると景気の後退期間が長引くのではないかと心配しておりました。生産統計に出るのはしばらく後ですけどお客様は私のところに来られるわけです。いろいろ説明を聞いておまして、とにかく民間は凄いなと、民間のサプライチェーンの回復は想定以上、はるかに想定以上の速さです。一方、官はめちゃくちゃ遅い、足してみればあんまり大して変わらないのかなという感じもするし、出し惜しみしている政府の分が後から出れば長続きするのかなと思わなくもない。ので最近これを言うと噛みつかれるのでばかばかしくなって喋らない様にしてるんですが、とにかく民は早い、官は遅い官が遅い理由はいろいろあるにしてもひどいほど遅かったというのは事実だと思います。想像以上に日本経済の回復は早いです。あれほど生産統計が鋭角的に落ちたのに戻ってきております。もちろん100%には戻らないけれど、何でもかと思えたら去年から景気の後退期間に入っていたんですよ。景気の落ち込んでる期間に震災が起きたら大変だったと思います。日本はついてたと思います。今回1ヶ月くらいの影響ですめば、いずれ戻ってくる。後はほっといても復興需要が出る特に来年はわかりきってるくらい良い年なんです。何かがあるかという1月に台湾総統、3月にロシア大統領、5月にフランス大統領、11月にアメリカ大統領、12月に韓国大統領の各選挙それから北朝鮮と中国の共産党大会があってなおかつロンドンオリンピックがあって、これだけ政治のフォローの風が吹けば景気は必ずよくなります。再選された政治家は必ず無駄金を使います。ですから来年は景気の問題は心配はない。問題は2013年大変大きな問題になります。何故かというTPP問題にしても人口減少社会にしても社会福祉の多様な問題とか全部法案がなくなっちゃった法人税の減税含めて、これでいいんですかね本当に、その問題の咎が2013年に来ると思います。おそらくその頃消費税を上げますという話がきつと出るだろうと思います。そういうことで2013年以降になるとスタグフレーションになるスタグフレーションとは失業者を抱えたままインフレが起こると非常に経済的に悪い現象になると思います。皆様もこれからの動向に注目して見ていてください。ご清聴ありがとうございました。

○本日出席・前回修正出席 **出席率 100%ありがとうございました。引き続きご協力をお願いします。**

	会 員 総 数	出席義務会員数	出席会員数	出 席 率
本 日	5 4 名		4 0 名	
前回修正	5 4 名	5 0 名	5 0 名	1 0 0 %
他クラブで メイクアップ された 会 員	(山形北)阿部 浩一 (山形東)寺崎 利彦	大久保章宏	太田幸一郎	寺崎 利彦